

2017年1月理事会議事録

日 時：2017年1月28日（土）14：00～18：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・瓦吹 堅
・久保田正寿・佐々木和博・佐藤宏之・篠原和大・杉井 健・関根達人・都築恵
美子・新納 泉・橋本裕行・堀内秀樹・宮本一夫・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・
吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：石川日出志・岡内三眞・菊池誠一・佐々木憲一・矢島國雄

進 行：橋本裕行

議 長：谷川章雄

橋本理事から、本日の出席者は21名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

橋本理事から、千葉県飯島正義会員が2016年3月5日、神奈川県荒井英樹会員が9月22日、富山県根津明義会員が10月16日、静岡県小野眞一会員が11月7日、福井県木下哲夫会員が2017年1月17日、愛知県芳賀 陽会員が1月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第375号 第83回（2017年度）総会議案について

佐藤理事から、第83回総会議題案の報告事項並びに審議事項の説明があり、一部修正の上、承認した。

議案第376号 2017年度予算（案）について

都築理事から、2017年度の収入見込み額に対し、各委員会から提出された予算要求額が上回っていることが報告され、今後、各事業の増額理由や2016年度の支出状況等を踏まえて調整し、3月の理事会に予算案を提出するとの説明があり、承認した。

議案第377号 協会設立70周年記念事業について

谷川会長から、2016年11月3日（木）と2017年1月22日（日）に協会設立70周年記念事業小委員会を開催し、70周年記念事業は「転換期を迎えた日本考古学と日本考古学協会（仮）」を基軸に事業案を考えているとの説明があった。続けて小澤理事から、協会創立期の関連資料の収集及びアーカイブ化・永年在籍会員の顕彰・出版物の刊行・公開講演会等からなる原案の提示があり、今後、小委員会を中心に各事業について具体的に提案することで、原案を承認した。

議案第378号 3学協会共催アイヌシンポジウムについて

関根理事から、アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル

を行ってきた北海道アイヌ協会・日本人類学会・日本考古学協会では、今年度から研究成果の社会的還元のためシンポジウムを実施している。今年度の第1回シンポジウムは北海道アイヌ協会が主催であり、来年度の第2回シンポジウムは協会主催で開催したいとの説明があり、承認した。

議案第379号 災害対応委員会（仮称）の設置について

近藤副会長から、将来構想検討小委員会では、各種災害に対応する常置委員会の発足を検討した。これまで、阪神・淡路大震災や東日本大震災などでは特別委員会、その他の水害・火災等の災害に対しては埋蔵文化財保護対策委員会が対応してきた。これらの経験を生かし社会に貢献する体制を整えるために、災害対応委員会（仮称）の設置について提案があった。続けて佐藤理事から、具体的な委員会構成案等について補足説明があり、審議の結果、常置委員会とするにあたり、さらに検討が必要なことから継続して審議することとなった。

議案第380号 「認定考古士」認定制度の創設について

佐藤理事から、大学教育において考古学の体系的な専門教育を受けたことを認定する「認定考古士」制度の創設について、将来構想検討委員会で検討を行ったとの説明があった。審議の結果、認定制度の意義と課題の抽出や実施の可能性について、研究環境検討委員会に検討を依頼することとなった。

議案第381号 著作権規定（案）について

佐藤理事から、会報第189号に掲載して会員からの意見を求めた日本考古学協会著作権規定（修正案）につき、第7条第3項及び第4項に関して意見が寄せられたとの報告があった。諸規則・規定等見直し検討会で検討した結果、①第7条第3項における申請の文言の必要性については同条第1項に記載されている、②第7条第4項における利用許諾申請の範囲には著作権法第32条に定められている「引用」は当たらないとして、現状の修正案で説明できるとの説明があり、審議の結果、会報に最終案を掲載し、第83回総会で説明することで、承認した。

議案第382号 賛助会員規定（案）について

佐藤理事から、会報第189号に掲載して会員からの意見を求めた賛助会員に関する規定（修正案）につき、1名の会員から意見が寄せられたとの報告があった。諸規則・規定等見直し検討会で検討した結果、①第2条（3）学生会員の「大学」には短期大学も含む、②学生会員の入会申込み推薦文については数行でかまわないので必要であり、文言の修正には至らず変更を要しないとの説明があり、審議の結果、会報掲載案通り、第83回総会で説明することで、承認した。

議案第383号 旅費規定（案）について

石川副会長に代わり橋本理事から、前理事会からの継続審議となっている旅費規定（案）について修正案が提示された。続けて、諸規則・規定等の整備作業部会の吉田委員から、

現状や運用面も考慮して旅費規定(案)を再検討し、新たに旅費規定運用に関する内規(案)を設けるとの補足説明があった。各理事には条文を読み込んだ上での3月理事会前までの意見が求められ、各種書式と合わせて審議することとなった。

議案第384号 事務局長の職務及び勤務に関する規定の一部改正について

谷川会長から、事務局長の職務及び勤務に関する規定について、経済情勢や雇用制度の変更に伴い、①現行の定款に即した条文の変更、②理事の任期に委嘱期間を合わせる、③定年となる年齢を変更したいとの提案があり、原案通り承認した。

議案第385号 日本考古学協会賞規定の一部改正について

宮本理事から、日本考古学協会賞規定について、実情に合わせて第3条の改正、及び第4条に英文機関誌編集委員会からの推薦を加える改正案が提示された。審議の結果、他との整合性など検討が必要であり、継続審議とした。

議案第386号 協会アーカイブの取り組みについて

近藤副会長から、協会設立70周年記念事業に際してアーカイブ化事業を行うにあたり、文書管理規定の改正や情報公開についての規程が必要であり、議案第387・388号と関連していることから、一括して説明があった。

議案第387号 文書管理規定の改正(案)について

小笠原理事から、機密文書の取り扱いや管理者、廃棄について明文化した文書管理規定の改正案の提示があり、各理事には条文を読み込んだ上での意見が求められ、継続審議とした。

議案第388号 情報公開内規(案)について

小笠原理事から、アーカイブ化事業を行うことにより将来的に公開が見込まれることから、個人情報保護、公開対象資料や閲覧等について明記した情報公開内規(案)の提示があった。審議の結果、一部条文の訂正や他の学会を参考とする等の検討が必要であり、継続して審議することとなった。

議案第389号 日本考古学年報の編集と刊行について

小笠原理事から、2013年9月理事会議案第162号で承認された『日本考古学年報』のWeb上へのアップについて、現状では実施されておらず、改めて課題の整理を行った。紙媒体の製本の見直しや掲載項目、Web公開項目の限定等の検討を行うとともに、会員を対象にアンケートを実施する予定であるとの説明があった。審議の結果、アンケートについて内容の提示が求められ、継続審議とした。

議案第390号 千葉県文書館収蔵公文書の不適切な大量廃棄・移動の停止を求める要望について

小笠原理事から、「公文書等の管理に関する法律」を受けて、千葉県文書館から1万冊

以上の収蔵公文書が廃棄され、また簡便な手続きで閲覧可能であった文書が情報公開請求の対象となったことに対し、アーカイブズ学や歴史学等の学会を中心に要望書の提出が検討されており、賛同が求められているとの説明があった。審議の結果、発掘調査報告書や発掘調査届なども関わってくることから、要望書に賛同することで承認した。

議案第391号 研究環境検討委員会のアンケートの実施について

篠原理事から、研究環境検討委員会では、埋蔵文化財調査機関や博物館等に所属する会員を対象に、考古学の教育・研究環境や後継者育成についてのアンケートの実施を検討しており、アンケート案が提示された。審議の結果、アンケート回答の対象が限定されていること、収集方法等の課題から再度検討が求められた。

議案第392号 共催及び後援に関する基準（案）について

長瀬常務理事から、共催依頼や後援依頼に対する基準として、「共催及び後援に関する基準（案）」が提示され、審議の結果、条文については再度検討することで、基準の作成を承認した。

議案第393号 後援依頼について

長瀬常務理事から、日本西アジア考古学会から「第24回西アジア発掘調査報告会」の後援依頼があったとの説明があり、メール審議の結果、承認した。

議案第394号 退会の承認について

久保田理事から、退会届けが提出されている18名の名簿の提示があり、茨城県の*会員、栃木県の*会員、千葉県の*会員・*会員・*会員、東京都の*会員、神奈川県*の*会員、新潟県の*会員、富山県の*会員、長野県の*会員、三重県の*会員、兵庫県の*会員、奈良県の*会員、愛媛県の*会員、福岡県の*会員、大分県の*会員の計16名の2016年度をもっての退会を承認した。また、未納会費のある会員2名から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

報告第520号 第83回総会について

小澤理事から、第83回総会内容の報告があり、第1日目は総会、公開講演会とセッション1件、第2日目は口頭発表3会場31件、セッション3会場5件、ポスターセッション24件、高校生ポスターセッション9件であることが説明され、了承した。

報告第521号 入会資格審査について

瓦吹理事から、①2016年12月10日（土）に第1回入会資格審査委員会を開催し、委員長に藤田典夫会員、副委員長に岡崎完樹会員を選出して、2017年度新入会員の資格審査を行った。審査の結果、申込総数55名のうち、資格基準を満たす者50名、保留3名、2名が業績不足及び考古学の方法論に基づいていないため該当しないと判断された。②2017年1月21日（土）に、委員長と副委員長による第2回入会資格審査委員会を開催し、保留3名の再審査を行ったところ、うち1名は申込を辞退し、1名が業績不足により該当せず、1名

が資格基準を満たすと判断された。よって、2017年度新入会員資格基準該当者は51名となり、3月上旬に全会員に名簿を送付するとの報告があり、了承した。

報告第522号 将来構想検討小委員会報告

谷川会長から、2016年12月4日（日）に委員会を開催し、①災害に対応する常置委員会の設置について、②考古学関連学会からなる学会連合の組織化について、③認定考古士資格について、④総会・大会における参加費の導入について、⑤総会・大会時の会費の支払いにおける多額の現金の取り扱いについて検討したとの説明があり、了承した。

報告第523号 業務執行理事の職務執行報告

谷川会長から、定款第24条の3に則り、2016年度前半期の会長・副会長としての各種行事・会議等の出席等の職務執行状況について報告があった。

報告第524号 第5回文化遺産防災ネットワーク推進会議報告

杉井理事から、2016年11月29日（火）に文化遺産防災ネットワーク推進会議が開催され、近藤副会長と杉井理事が出席した。文化財防災ネットワーク推進事業の活動状況の報告や熊本地震被災文化財のレスキュー事業の状況と課題等を協議したとの説明があり、了承した。

報告第525号 陵墓報告

新納理事から、①立会調査見学が2016年12月6日（火）に能褒野古墳群（能褒野墓）で実施され、10学協会16名が参加し、当会からは新納理事が参加した。また、2017年1月13日（金）に北川陵墓参考地で実施され、5学協会6名が参加、当会からは柳澤一男会員が参加した。続けて1月19日（木）に伏見城跡（桃山陵墓地）で実施され、10学協会10名が参加、当会からは橋本理事が参加した。今後は、2月2日（木）に御廟野古墳（天智天皇山科陵）、2月16日（木）に淡輪ニサンザイ古墳（宇度墓）で実施予定である。②本年度の立入り観察についても準備を進めていることが報告され、了承した。

報告第526号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、2016年11月20日（日）に委員会を開催し、①パブリックコメントを提出した際における他学会との連携や周知活動について協議した。②今後の活動計画について協議したことが報告され、了承した。

報告第527号 研究環境検討委員会報告

篠原理事から、2016年11月12日（土）に委員会を開催し、①10月の弘前大会時のポスターセッションに参加した委員から報告があり、会場アンケートについて意見交換を行った。②2017年度の第83回総会におけるポスターセッションについて協議した。③埋蔵文化財調査機関や博物館等における考古学の教育・研究環境と後継者育成についてのアンケートの実施について検討したとの報告があり、了承した。

報告第528号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、2016年11月・12月幹事会議事録の提示及び1月幹事会について説明があり、①北九州市城野遺跡について、北九州市と面談を行った。②大阪府和泉市国史跡池上曾根遺跡において開発計画案が出ており、情報収集に努める。③兵庫県加古川市中道子山城跡において無線塔建設計画があることから、馬淵委員等が現地を視察し、今後の対応を検討した。④埼玉県北本市デーノタメ遺跡の保存問題について協議した。⑤秋田県片貝家ノ下遺跡の現地見学会に小笠原理事が参加したとの報告があり、了承した。

報告第529号 機関誌『日本考古学』編集委員会報告

篠原理事から、2016年11月27日（日）・2017年1月28日（土）に編集委員会を開催し、①『日本考古学』第43号以降の投稿状況及び掲載予定内容について協議した。②著作権規定の制定への動向を受けて投稿規定の整備について協議したとの報告があり、了承した。

報告第530号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、1月7日（土）に編集委員会を開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』Vol. 4, No. 2の刊行について進捗状況を確認した。②第83回総会におけるセッション「日本考古学の国際化—意味・意義・方法—」について検討した。③今年度の国外での宣伝活動の実施について協議したとの説明があり、了承した。

報告第531号 広報委員会報告

小澤理事から、1月14日（土）に委員会を開催し、公式サイトのリニューアルの進捗状況並びに管理・更新体制について確認を行ったとの報告があり、了承した。

報告第532号 国際交流委員会報告

小澤理事から、2016年10月30日（日）に委員会を開催し、①田尾委員から第8回世界考古学会議における日本考古学協会ポスターセッションについて実施報告があった。②2017年3月4日（土）に早稲田大学において、「アジアの天空」をテーマに第10回アジア考古学四学会合同講演会の開催を予定しているとの報告があり、了承した。

報告第533号 日本考古学協会公開講座について

岡山理事から、企画担当理事による調整会議で検討し、今年度の公開講座は中止するとの報告があり、了承した。

報告第534号 文化財に関する諸問題検討会報告

近藤副会長から、国連安保理決議2199号を受けて文化庁や経済産業省が検討に入っていることから、協会でも不法流通文化財について事態を把握するために、1月11日（水）に検討会を開催し、パキスタンの状況について現地の状況に詳しい野口会員に話を伺ったとの説明があり、了承した。

報告第535号 科学研究費助成事業実地検査の結果について

長瀬常務理事から、2016年10月19日（水）に行われた科学研究費助成事業の实地検査結果の提示があり、改善要求に対しては速やかに対応するとの報告があり、了承した。

報告第536号 会費高額滞納者について

長瀬常務理事から、3万円の高額滞納者46名の報告があり、各理事が分担して督促に当たることとなった。

その他

(1) 監事意見

唐澤監事から、本日の議題のうち災害対応委員会の設置及び認定考古士制度について、慎重な検討が求められた。

以 上